

第 97 回 地区内中小企業 景気動向調査結果

(平成 25 年 1 月～ 3 月実績)

(平成 25 年 4 月～ 6 月予想)

***** 目 次 *****

地区内データベース	1
全国 ・ 全道の概況	4
調査の概要	5
全業種総合	6
製造業	9
建設業	11
卸売業	13
小売業	15
サービス業	17
特別調査	19

地区内データベース

1. 人口・世帯数動向 (平成25年3月末)

町村名	人口			世帯数		
	人数	前年同月比	3月末比	世帯数	前年同月比	3月末比
平取町	5,464	-64	-64	2,565	2	2
日高町	13,139	-277	-277	6,458	-67	-67
新冠町	5,786	5	5	2,670	19	19
新ひだか町	24,749	-236	-236	12,121	-4	-4
浦河町	13,520	-283	-283	6,880	-52	-52
様似町	4,887	-125	-125	2,280	-37	-37
えりも町	5,221	-102	-102	2,127	-25	-25
広尾町	7,621	-189	-189	3,447	-25	-25
大樹町	5,903	-31	-31	2,642	29	29
日高・十勝地区合計	86,290	-1,302	-1,302	41,190	-160	-160
札幌市	1,919,664	15,345	15,345	994,664	15,506	15,506
江別市	120,844	-96	-96	54,470	592	592
石狩市	60,275	-341	-341	26,835	231	231
北広島市	60,044	-247	-247	26,359	208	208
恵庭市	68,797	43	43	30,884	311	311
千歳市	94,172	588	588	45,368	667	667
石狩地区合計	2,323,796	15,292	15,292	1,178,580	17,515	17,515
苫小牧市	173,912	151	151	84,942	958	958
厚真町	4,739	-40	-40	2,066	31	31
むかわ町	9,298	-126	-126	4,491	69	69
胆振地区合計	187,949	-15	-15	91,499	1,058	1,058
営業区域合計	2,598,035	13,975	13,975	1,311,269	18,413	18,413

(資料出所：各市町村)

*平取町、日高町、えりも町、広尾町の人口に外国人登録者数は含まれていません。

2. 企業倒産状況 (平成25年1～3月中)

千円

単位：件・千円	件数	負債金額	件数前年同期比	金額前年同期比
苫小牧管内	8	241	-5	99
(内・新冠町～えりも町)	5	209	-2	136
業種および件数	1次産業1件、卸売業2件、サービス業2件、小売業1件、建設業1件、製造業1件			
地区および件数	苫小牧市2件、安平町1件、日高町1件、新ひだか町2件、浦河町2件			
北海道	110	3,432	-25	1,005
全国	2,779	55,570	-405	-75,885

(資料出所：東京商工リサーチ)

3. 労働需給状況

平成 25 年 1 月

	浦 河 (人・倍)	全 道 (人・倍)	前年同月比(%・ポイント)		前月比(%・ポイント)	
			浦 河	全 道	浦 河	全 道
月間有効求人数	713	61,044	18.64	11.00	12.46	4.54
月間有効求職者数	889	99,455	-9.65	-7.38	13.39	3.06
月間有効求人倍率	0.80	0.61	0.19	0.10	-0.01	0.00

平成 25 年 2 月

月間有効求人数	742	67,108	12.42	10.18	4.07	9.93
月間有効求職者数	946	103,812	-8.51	-8.26	6.41	4.38
月間有効求人倍率	0.78	0.65	0.14	0.11	-0.02	0.04

平成 25 年 3 月

月間有効求人数	750	72,636	7.30	9.61	1.08	8.24
月間有効求職者数	1,074	111,425	-5.54	-9.97	13.53	7.33
月間有効求人倍率	0.70	0.65	0.09	0.11	-0.08	0.00

(資料出所：浦河公共職業安定所)

4. 浦河町・新ひだか町静内 金融機関預金・貸出金残高 (平成 25 年 3 月末現在)

単位：百万円・%

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	貸 出 金	前年同月比	前 月 比
123,509	3.54	3.61	59,577	-0.48	5.75

(資料出所：浦河・静内金融協会)

5. 浦河町・新ひだか町静内 手形交換高

平成 25 年 1 月

	当 月	前年同月比 (%)	前月比 (%)
交 換 枚 数 (枚)	529	-2.76	75.75
交 換 金 額 (百万円)	886	8.85	33.23
不渡り手形枚数 (枚)	0	—	—
不渡り手形金額 (百万円)	0	—	—

平成 25 年 2 月

交 換 枚 数 (枚)	395	-5.50	-25.33
交 換 金 額 (百万円)	788	-2.48	-11.06
不渡り手形枚数 (枚)	0	-100.00	—
不渡り手形金額 (百万円)	0	-100.00	—

平成 25 年 3 月

交 換 枚 数 (枚)	309	1.31	-21.77
交 換 金 額 (百万円)	688	2.99	-12.69
不渡り手形枚数 (枚)	1	—	—
不渡り手形金額 (百万円)	1	—	—

(資料出所：浦河・静内金融協会)

6. 新車登録台数（普通・小型乗用、軽自動車(軽トラ含む)）

単位：台

市町村	25年1～3月の登録			本年中の累計(1～3月)	
	台数	前年同期比	前四半期比	台数	前年同期比
平取町	68	-2	22	68	-2
日高町	145	-26	45	145	-26
新冠町	64	6	22	64	6
新ひだか町	228	-64	46	228	-64
浦河町	121	-14	11	121	-14
様似町	44	-10	12	44	-10
えりも町	48	-21	6	48	-21
日高振興局管内計	718	-131	164	718	-131
室蘭陸運局総計	4,966	-582	1,118	4,966	-582
管内シェア	14.46	-0.84	0.06	14.46	-0.84

(注) 管内シェアとは、室蘭陸運局登録台数に占める日高振興局管内の登録割合。

(資料出所：自販連室蘭支部、室蘭軽自動車協会)

7. 建築確認申請

単位：件数

		件数	前年同期比	前四半期比
当金庫管内 (新ひだか町～広尾町)	25/1～25/3中の申請	23	9	-1
	24/4～25/3月迄の累計	139	14	

(資料出所：各町村)

8. 気象情報

平成25年1月中

	本年			平年偏差・平年比		
	気温(℃)	降水量(mm)	日照時間	気温(℃)	降水量(%)	日照時間(%)
浦河	-4.4	14.0	169.8	-1.9	37.9	121.7
広尾	-6.4	29.0	199.6	-1.9	37.9	124.8

平成25年2月中

浦河	-3.3	17.5	149.9	-0.9	71.7	92.4
広尾	-4.8	49.5	151.3	-0.5	93.2	94.3

平成25年3月中

浦河	0.4	44.5	162.2	-0.1	90.6	83.5
広尾	0.3	91.0	197.2	-0.2	99.8	105.3

(資料出所：国土交通省 気象庁)

全 国 ・ 全 道 の 概 況

信金中央金庫がまとめた全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況によると、平成25年1～3月期(今期)の業況判断D Iは $\Delta 22.8$ と、前期比0.4ポイントのわずかな悪化となったが、前回調査における今期見通し($\Delta 29.2$)を6.4ポイント上回っており、マインド改善を確認できる内容となっている。収益面では、前年同期比売上額および収益の判断D Iが、それぞれ $\Delta 14.5$ 、 $\Delta 19.5$ と、ともに2ポイント程度マイナス幅が縮小した。業種別の業況判断D Iは、サービス業、建設業、不動産業の3業種が改善、製造業、卸売業、小売業の3業種が悪化した。地域別では、全11地域中、6地域が改善、5地域が悪化となった。平成25年4～6月期(来期)の予想業況判断D Iは $\Delta 14.9$ と、今期実績比7.9ポイントの改善見通しとなっている。業種別には全6業種で、地域別には全11地域で改善の見通しとなっている。

日本銀行札幌支店が4月19日発表した金融経済概況によると、道内の景気は、持ち直しの動きが続いている。すなわち、最終需要面の動きをみると、公共投資は底堅く推移している。設備投資は緩やかに増加している。住宅投資は貸家中心に持ち直している。個人消費は、消費者マインドは改善傾向にあるものの、悪天候の影響もあって、弱含みとなっている。観光は、国内道外客、外国人観光客ともに持ち直している。この間、生産は、国内外需要の回復から緩やかに持ち直している。雇用・所得情勢をみると、労働需給は他地域と比べ厳しい状況にあるものの、改善傾向にある。雇用者所得は前年並みで推移している。

需要項目別動向

- 個人消費・・・株高等を背景に消費者マインドは改善傾向にあるものの、悪天候の影響もあって、弱含みとなっている。大型小売店売上高をみると、百貨店では、消費者マインドの改善もあって高級腕時計等一部高額商品が中高年層向け中心に堅調に推移しているほか、特別セール開催の効果もあって春物衣料品の売れ行きが持ち直している。一方、スーパーでは、昨年からの大雪が3月中も続いたことで来店客数が減少したことから、全体としてはやや弱めとなっている。コンビニエンスストア売上高は、新規出店効果や顧客層の広がりもあって堅調に推移している。家電販売は、LED照明や一部白物家電等の節電関連商品の売り上げが堅調なもの、全体としては薄型テレビの販売減少を主因に低調に推移している。また、乗用車販売は、軽自動車中心に新型車投入効果がみられるものの、エコカー補助金切れの影響がみられることから、前年を下回っている。観光については、持ち直している。国内道外客は、航空機提供座席数の増加を背景に、前年を上回っている。外国人観光客は、直行便の就航効果もあってアジアからの観光客を中心に緩やかに増加している。
- 公共投資・・・底堅く推移している。公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額をみると、北海道新幹線関連工事の増加を主因に、底堅く推移している。
- 住宅投資・・・貸家中心に持ち直している。新設住宅着工戸数をみると、サービス付き高齢者向け住宅を中心に貸家が堅調に推移しているほか、持家が前年を上回っていることから、持ち直している。この間、分譲マンションについては、建設労働者不足の影響もあって一部に着工の遅れがみられている。
- 設備投資・・・緩やかに増加している。3月短観における25年度の計画をみると、製造業では、前年度の大型能力増強投資の反動減もあって、全体としては高水準ながらも減少している。一方、非製造業では、大型の維持・更新投資を行うことから、前年を上回っている。
- 雇用・所得・・・労働需給は他地域と比べ厳しい状況にあるものの、改善傾向にある。雇用者所得は、前年並みで推移している。有効求人倍率(常用)は、新規求人数が医療・福祉、建設業を中心に増加していることなどから、前年を上回って推移している。特に建設業では、東北での復興需要を受けた道外求人が引き続き見られているほか、道内でも公共工事増加にむけて求人が増加している。また、雇用者所得は、一人当たり名目賃金は低下傾向にあるものの、常用労働者数が前年を上回っていることから、前年並みで推移している。